

伝統芸能継承詩吟剣詩舞連盟



Profile

新潟県が主宰する新潟県文化祭の詩吟剣詩舞部門の企画「吟舞の祭典」と「県知事杯争奪コンクール」を主催し、県内の各流派並びに各会が一体となって県内詩吟剣詩舞の伝統継承と振興に寄与すると共に、併せて会員相互の理解と親睦を深める目的の組織。

- ・平成21年に「伝統芸能継承する集い」として設立して、新潟市「新潟ユニゾンプラザ」で発表会と知事杯争奪コンクールを主催する。
- ・平成24年に年々減少する会員とコンクール参加者減少に歯止めを掛けて、会の活性化、継承者の発掘育成とレベル向上を進める為に会則を改正し、運営組織も一新する。
 - 1).会の名称を「新潟県詩吟剣詩舞連盟」に改名。
 - 2).新潟県内の会派なら、希望者は誰でも入会出来、新潟県文化祭参加企画「吟舞の祭典」にも参加出演出来るようにした。
 - 3).県知事杯争奪コンクールの審査は公平で高度の審査を行うために、(公財)日本吟剣詩舞振興会のコンクール入賞者クラスを招請することにし、また誰でも挑戦出来るように門戸を開いた。
 - 4).会員のレベル向上の参考にするために、審査員や特別に招請したゲストによる模範演技や講座を開設した。
 - 5).マンネリ打開と新分野開拓の為に他伝統芸能の方達にも参加して頂き交流することで、取り組み姿勢を学び、コラボの可能性について研究するようにした。
 - 6).会場を新潟市から新潟県の中心地長岡市に移す。
- ・平成26年には、知事杯コンクールの審査方法が評価されて、参加者が多くなり予選会を開催するようになった。
- ・平成30年には「独吟」と「5人合吟」だけだった県知事杯に、「剣詩舞」も新潟県から加えて頂く。組織の名称も「伝統芸能継承吟剣詩舞連盟」に改名。
- ・令和元年に新潟県が主催した「国民文化祭にいがた2019」の「吟舞の祭典」に、理事長が実行委員長になるなど組織あげて協力参加して中心的役割を果たし、全国の参加者の演技を見聞し、また交流する。
- ・令和2年は過去の実績が認められて、三条市から改築された「三条市体育文化会館」の「これらおとし事業」への参加要請を受けて、会場を長岡市から三条市開催で準備を進めている。